



四日市支部だより

2012年12月1日発行
 2012年3号(通巻8号)
 昭和シェル社友会 四日市支部
 支部ホームページ
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~yokkaichi-ob/>

平成24年の年末にあたって

四日市支部長 添田亮三

平成19年(2007年)1月から四日市支部長の大任指名を受けて早や6年が経過し、来年度より塩野新支部長に後を託すこととなりました。皆様からのご支援に心から感謝を申し上げます。

1. 今年の四日市支部活動

今年も世界中に政治、経済などの不安定要因が拡がり、将来に明るい展望が持てない時代が続いております。

一方、ロンドン五輪では久々に日本人選手の活躍が目立ち、深夜まで国中が盛り上がりました。

社友会は斯様な環境下でも会員の親睦・会社への協力・社会貢献など、各方面での活動を続けております。

四日市支部は、皆様の熱心なご協力のたおかげで、本年も予定した行事を滞りなく進めることが出来ました。

- ・ 2月 支部総会と新春懇親会(塩浜クラブ)
- ・ 4月 春の日帰り旅行会(醍醐寺・仁和寺・鞍馬寺)
- ・ 6月 第24回社友会全国大会・観光旅行(下呂温泉・犬山)
- ・ 8月 夏期懇親会(アサヒアケラー四日市)
- ・ 10月 秋の1泊旅行会(四国・新祖谷温泉)
- ・ 12月 忘年会(四日市シティホテル)
- ・ 春秋のハイキング会開催
- ・ 同好会(ウォーキング部、ゴルフ部、釣り部)活動

その他の活動

- ・ 全国大会開催地支部として、中部支部と合同で業務遂行
- ・ るいとう会、ソーラー事業など会社への協力
- ・ 支部執行部の世代交代の準備
- ・ ホームページや「支部だより」など会員への広報活動
- ・ 各行事を通じてのRIJ募金活動

2. 6年を振り返る

年来の課題であった「支部役員若返り」が漸く実現の目処がつかしました。ここで6年の支部活動を振り返りますと、この間、支部活動の活性化を図り、行事参加者を増やすための新施策導入に専ら力を注いで参りました。

- ① 春の日帰り旅行会や夏季懇親会、同好会等、会員が参加しやすいイベントの追加
- ② 社友会の重要課題である「るいとう会」参加加入促進
- ③ 「支部だより」の発行など広報活動の拡大
- ④ 会社(昭四石)との関係強化
- ⑤ 支部財政の健全化対策

幸い、各項目共に一応の成果をみました。支部会員をはじめ関係者の皆様からのご支援・ご協力に厚く感謝いたします。

しかし、課題も残っています。新体制の下、新鮮な発想により支部活動を一層進展をされるよう祈念いたします。

お断り: 同好会ニュースは、紙面の都合で休載いたします。

会員の動き

(敬称略)

◎支部会員数 322名 (11月30日現在)

◎新入会者

堀 清 (8月)	前川 憲二(8月)
堀 龍一(9月)	村田 幸保(9月)
後藤 久喜(10月)	藤波 耕造(10月)
安田 洋一(11月)	

◎お悔やみ

豊田 龍正 (76歳)	(8月8日)
長島 貞宣 (74歳)	(8月26日)
雨宮 善次 (76歳)	(10月7日)
高楠 敏樹 (73歳)	(10月15日)
稲垣 巖 (78歳)	(10月24日)
山崎 清吉 (86歳)	(11月14日)

平成25年度

支部役員および職務分担変更のお知らせ

2年毎の改選期にあたる新年度より、下表のとおり支部運営体制が変わって、塩野新支部長を中心に「誰もが参加しやすい支部活動」を目指し、特に若手会員への参加の呼びかけを進めて行くつもりです。

陣容が大きく変わり、行き届かないこともあるかと思いますが、引き続き皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

退任される添田亮三さん(支部長)・濱田一さん(事務局)・巳上一志さん(顧問)のお三方には心から御礼申し上げますとともに、今後も変わらずご指導をお願いいたします。

平成25年度 支部役員と分担

支部長	塩野 輝雄 (新任)	支部業務総括、慶弔担当
副支部長	溝川 紳一 (新任)	総会・広報・「るいとう会」担当
幹事	水谷 勲 (留任)	事務局・会計担当
	佐藤 弘二 (留任)	「るいとう会」担当・行事全般
	伊藤 泰義 (留任)	旅行会・社会貢献担当 全国大会実行委員
	橋本 久雄 (新任)	旅行会担当
	富山 実 (新任)	懇親会・同好会担当
	市川 義行 (新任)	懇親会担当・事務局補佐
HP専任 幹事	伊藤 直紀 (留任)	ホームページ委員
会計監査	前川 忠明 (留任)	
顧問	河戸 茂治 (留任)	
	添田 亮三 (新任)	

秋の旅行会

四国新祖谷温泉と大歩危峡遊覧

行程

- ・10月15日:近鉄四日市駅前→<東名阪・新名神・阪神高速>→淡路ハイウェイオアシス(昼食)→大鳴門橋→池田→かずら橋→ホテル「かずら橋」(宿泊)
- ・10月16日:ホテル「かずら橋」→大歩危峡遊覧→鳴門の渦潮→<阪神高速・新名神・東名阪>→近鉄四日市駅前

四日市支部32名、中部支部8名、計40名の参加者は、秋晴れの中、徳島県吉野川上流の日本三大秘境と称される祖谷峡(いやきょう)へと出発、現地ではホテルが用意したボンネットバスに乗り換えて、祖谷の吊り橋「かずら橋」に到着。記念撮影の後、橋を渡る。飛ぶように渡る人、手すりにしがみついて動けない人、途中から戻る人など、ユーモラスな情景が見られました。

宿では、ケーブルカーで登る天空露天風呂からの眺めを楽しんだ後、宿自慢の料理を味わいながらの懇親会となって大いに盛り上りました。

2日目は、遊覧船で大歩危峡の景観を楽しみ、大鳴門橋のたもとの昼食後、橋の高速道路下の遊歩道から鳴門海峡の渦潮を見学してから帰路に付きました。



夕暮れのかずら橋をバックに記念撮影

ビールの泡で暑さを乗り切る

平成24年夏季懇親会開催

日時:平成24年8月20日 午後12時15分～15時
会場:四日市アサヒビアケラー
参加者:47名



ドデカボチャを前に話す山田さん

厳しい残暑の続く中、5回目を迎える夏季懇親会が昭和四日市石油(株)佐藤仁社長ご夫妻をお迎えして開催されました。添田支部長の開会挨拶に続いて、佐藤社長に今春から開始の「人財力アップ全社運動」について熱く語っていただきました。恒例の卓話は山田匡さん。プロジェクターを使って大きく重い『ドデカボチャ』とデッカイ『桜島大根』の栽培の話をして20数kgの現物のドデカボチャを会場に持込んで、面白く、解

り易く話されました。

その後、小嶋佐重さんの乾杯で懇親会が始まり、佐藤社長ご夫妻と6名の初参加会員が加わり、皆さんがジョッキ片手にテーブルを飛び回るほど盛り上がった中、増井泰彦さんの1本締めで、3時過ぎにお開きとなりました。

秋のハイキング会

三滝川左岸丘陵地沿いを歩く

秋真っ盛りの10月13日澄渡った空の下、満開のコスモスやカンナの花と住宅の軒先で色づき始めた柿の実を眺めながら、ウォーキング部のメンバーを中心に参加者15名がてくてくと歩きました。

ルート:湯の山線 桜駅～平尾・福泉寺～四日市中央工業高校～光徳寺・大日寺～時計台～ヒスイ谷～観音寺～和泉式部の化粧水の井戸～三重団地～城山公園(昼食)～生桑毘沙門天 (距離 約13キロ)
参加者:伊藤利男・伊橋健治・岡村達雄・喜吉雄・(15名) 塩野輝雄・高木勉・伝田貢・中村軍志・中村衛・沼田清・濱田一・原川孝光・福永立吉・福本泉・光本哲夫 (敬称略)



三重団地横の城山公園で記念写真

平成25年度 支部行事の予告

次の行事を計画中です。詳細決定次第お知らせします。奮ってご参加ください。

- ① 支部総会・懇親会 2月2日(土) 塩浜クラブ
- ② 春の日帰り旅行「大井川の桜とSL列車」 4月8日(月)
- ③ 春のハイキング会 5月11日(土) 行き先未定
- ④ 全国大会・観光旅行
 - ・6月4日(火) 全国大会 花巻温泉「千秋閣」
 - ・6月5日(水) 平泉中尊寺観光・気仙沼訪問 南三陸温泉「ホテル観洋」(泊)

- ・6月6日(木) 日本三景松島・瑞巖寺観光
- ・往復新幹線です。6月4日・5日の1泊2日も可です。
- ・参加費(概算) 2泊3日 80,000円
1泊2日 60,000円
- ⑤ 夏季懇親会 8月22日(木) アサヒビアケラー
- ⑥ 秋のハイキング会 10月12日(土) 行き先未定
- ⑦ 秋の一泊旅行 南紀方面 (瀬峡・川湯温泉) 10月21日(月)・22日(火)
- ⑧ 忘年会 12月7日(土) 四日市市内